

第1学年 国語科学習指導案

日 時 平成20年10月10日(金)5校時

児 童 1年1組(男17名,女10名 計27名)

指導者 教諭 新沼 美恵

1 単元名 くらべてよもう

教材名 じどう車くらべ (光村図書上)

2 単元の目標

◎自動車の仕事と作りの関係に興味をもって読み,ほかの自動車を説明する文章を書くことができる。

○自動車の仕事と作りに興味をもち,自動車に関する本を読もうとする。 (関・意・態)

○3種類の自動車について,仕事と作りの関係を考えながら内容の大体を読むことができる。 (読 イ)

○教材文を参考にして,簡単な組み立てを考えて好きな自動車の仕事と作りを説明する文を書くことができる。 (書 ウ)

○片仮名で書く語を読んだり書いたりすることができる。 (言 イ)

3 単元の評価規準

◎自動車の仕事と作りの関係に興味をもって読み,ほかの自動車を説明する文章を書こうとしている。

○自動車の仕事と作りに興味をもち,自動車に関する本を読もうとしている。 (関・意・態)

○3種類の自動車について,仕事と作りの関係を考えながら内容の大体を読んでいる。 (読 イ)

○教材文を参考にして,簡単な組み立てを考えて好きな自動車の仕事と作りを説明する文を書いている。 (書 ウ)

○片仮名で書く語を読んだり書いたりしている。 (言 イ)

4 単元について

(1)教材について

本単元に関わる小学校学習指導要領の目標は、「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付きながら読むことができるようにするとともに,楽しんで読書しようとする態度を育てる。」である。また,内容としては,「C読むこと(1)イ時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。」とある。

本教材は,生活に関係ある自動車について,それぞれの自動車の機能とそれに即応した仕組みについて説明した文章で4つの意味段落から構成されている。本教材は,題材に「自動車」を取り上げ,説明の仕方は,「話題・問題提起→問題に対する説明」を自動車の「仕事」と「作り」という二つの事柄の因果関係で比べる形を取り入れている。この時期の児童の大好きな題材を取り上げ,主体的な理解・表現活動を促す教材構成である。

(2)これまでの学習との関連

【1年】

「いろいろなくちばし」
・ 写真を手がかりにして,書かれていることの大体をつかむ。



【2年】

「たんぼぼのちえ」
・ 時間の順序や理由づけを示す言葉に着目し,様子とわけなどを考えながら読む。



「じどう車くらべ」
・ 自動車の仕事と作りの関係を考えながら読む。



「どうぶつの赤ちゃん」
・ 時間の流れに沿って、内容の大体を読む。

「サンゴの海の生き物たち」
・ 「サンゴの海の生き物たち」が互いに役立っていることを、事柄の順序を考えながら読む。



「一本の木」
・ 「一本の木」の叙述の順序を考えながら内容を読む。

(3) 児童について

本学級の児童は、本を読むことを好み、読み聞かせの会も楽しみにしている。しかし、読む・書く・理解することに時間がかかる児童が多く、音読では拾い読みの児童も数名いる。また、ひらがなや片仮名の書き順を確認しながら学習を進めている。

このような児童の実態を踏まえ、読むことに意欲を持たせたいという思いから、音読に力を入れて指導をしてきた。家庭音読にも取り組ませ、教材の内容を把握させた上で学習に望むように留意してきた。「いろいろなくちばし」の学習では、「問い→答え」の文章構成を学習した。挿絵から鳥のくちばしの形に興味をもたせ、文から特徴をみつけ、学習シートに言葉を入れて視写したり、くちばしを使って動作化の活動をしたりしながら読み取りを深めてきた。その結果、国語の学習に意欲をもって取り組めるようになってきた。しかし、発言の仕方や話の聞き方・文字の書き方・サイドラインを引くことには個人差があるため、遅れがちな児童に対しては個別に支援をしながら学習を進めている。

(4) 指導にあたって(仮説との関わり)

本単元では、自動車の特徴を紹介する文章を書くことが主目標にある。そのため、教科書の文章の音読を多く取り入れ、「しごと」と「つくり」の視点から内容を読み取っていくこと、特徴を表す言葉を文章から探すことを中心に、語句の意味や使い方を吟味して学習を進めていきたい。具体的には、自動車の説明が「しごと」と「つくり」についてのまとまりから成っていることに気づかせ、さらに、「そのために」という言葉が果たしている役割を児童に分かる言葉で話したり、児童に気づかせたりするよう促したい。

本単元のはじめに、子ども達が学ぶ意欲をもって学習に取り組めるよう、乗り物の本や模型などを用意し、子ども達が常に触れることができるように環境を整えていきたい。また、自動車図鑑を作ることを提案し、意欲付けを図りながら、自動車の「しごと」と「つくり」に着目して内容を読むようにしていきたい。

【研究仮説1 「読むこと」の学習指導過程に確かに読むための「書く活動」を取り入れる】

- ア それぞれの自動車の「しごと」と「つくり」が書かれている部分にサイドラインを引くこと。
- イ それぞれの自動車の「しごと」と「つくり」を視写すること。
- ウ 「しごと」や「つくり」について自分が思ったことや考えたことを書くこと。

【研究仮説2 「読むこと」に関わる学習技能を身に付ける活動を工夫する。】

- ア 第1のまとまりの「どんなしごとをしていますか。」と対応させながら読ませるようにする。
- イ 「そのために」「～ように」という表現に着目させ、「つくり」を理解させる。
- ウ 言葉だけでは十分に理解できない面については、動作化をさせたり挿絵で確認したりする。

5 単元の指導と評価の計画(9時間)

段階	時間	主な学習活動	具体的評価規準 (おおむね満足)	努力を要する 児童への支援
つかむ	1	○知っている自動車の名前を挙げ、どんな自動車があるか話し合う。 ○自動車図鑑を作ることを知り、作り方を理解する。 ○全文を音読し、カタカナや新出漢字を練習する。	○知っている自動車について進んで発表しようとしている。 ○自動車図鑑作りに関心をもっている。 ○はっきりと読んでいる。	○自分が自動車に乗った経験や家にある自動車について思い出させる。
	2	○カタカナや新出漢字を練習する。 ○全文を音読し、文章構成をつかむ。	○「問い」と「答え」の関係に気付き、内容の大体を読み取っている。	○教材文の挿絵に着目させながら文章を読ませる。
ふかめる	3	○「バスや乗用車」の「しごと」と「つくり」を読む。	○「バスや乗用車」の「しごと」と「つくり」を正しく読み取っている。	○挿絵を見ながら、何をする車なのか考えさせ、それが書いてある部分を探させる。
	4 本時	○「トラック」の「しごと」と「つくり」を読む。	○「トラック」の「しごと」と「つくり」を正しく読み取っている。	○挿絵を見ながら、何をする車なのか考えさせ、それが書いてある部分を探させる。
	5	○「クレーン車」の「しごと」と「つくり」を読む。	○「クレーン車」の「しごと」と「つくり」を正しく読み取っている。	○挿絵を見ながら、何をする車なのか考えさせ、それが書いてある部分を探させる。
まとめる	6	○「はしご車」について説明する文章を書く。	○「はしご車」の「しごと」と「つくり」を考えながら説明の文章を書いている。	○教材文や挿絵を見ながら、「しごと」と「つくり」を考えさせる。
	7・8	○好きな自動車を選び、自動車カードを作る。	○進んで好きな自動車を選び、「しごと」と「つくり」を考えて、カードに書いている。	○自動車の本を見ながら、何をする車でどんなつくりかを考えさせる。
	9	○自動車図鑑を完成させ、読み合う。	○友だちの自動車図鑑を読み、よいところを見つけようとしている。	○どの自動車が好きか考えさせながら読ませ、興味をもたせる。

6 本時の展開 4/9時間

(1) 本時の目標

- 「トラック」の「しごと」と「つくり」を読み取ることができる。

(2) 具体の評価規準

	A 十分満足	B おむね満足	C 努力を要する児童への手だて
読むこと	トラックの「しごと」と「つくり」を正しく読み取っている。	トラックの「しごと」と「つくり」を読み取っている。	挿絵を見ながら、何をする車なのかを考えさせ、それが書いてある部分を探させる。

(3) 本時の指導における仮説との関連

<仮説1に関わって>

- ア 「トラック」の特徴を理解させるために、「トラック」の「しごと」と「つくり」が書かれている部分にサイドラインを引くこと。
- イ 「トラック」の特徴を理解させるために、「トラック」の「しごと」と「つくり」を視写すること。
- ウ 「トラック」の「しごと」と「つくり」について自分が思ったことや考えたことを書くこと。

<仮説2に関わって>

- ア 学習技能として、「そのために」の意味や使い方を指導する。

(4)展開

段階	主な学習活動	指導上の留意点 (・) 評価の観点 (◎)
つ か む 5 分	1 前時の学習を振り返る 2 本時の学習課題を確認する トラックのしごととつくりをよみとろう。	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車の「しごと」と「つくり」に視点を当てて、バスや乗用車について読み取ったことを押さえる。 ・一斉読みをして、本時の課題をしっかりと確認する。
ふ か め る 30 分	3 学習課題を解決する (1)課題解決の見とおし ①「しごと」と「つくり」に着目させて、学習場面を音読する。 (2)課題解決のための読み取り ①トラックの「しごと」を読み取る。 ・トラックの「しごと」が分かる所にサイドラインを引く。 【仮説1 ア】 ・どんな荷物を運んでいるか考える。 ・紙板書でサイドラインの確認をする。 ・「しごと」について視写する。【仮説1 イ】 ②トラックの「つくり」を読み取る。 ・トラックの「つくり」が分かる所にサイドラインを引く。 【仮説1 ア】 ・語句「運転席」「荷台」の確認をする。 ・なぜ「にだい」が広いのか、「タイヤ」がたくさんあるのか話し合う。 ・紙板書でサイドラインの確認をする。 ・「つくり」について視写する。【仮説1 イ】 ・「そのために」という言葉に着目する。 【仮説2 ア】	<ul style="list-style-type: none"> ・音読は、各自読みと一斉読みをし、「しごと」と「つくり」に気をつけて読むように意識づける。 ◎トラックの「しごと」にサイドラインを引くことができたか。(観察・挙手) ・荷物にはどんなものがあるか、挿絵を見せたり体験を話させたりする。 ・シートに視写させる。 ◎トラックの「つくり」にサイドラインを引くことができたか。(観察・挙手) ・挿絵をもとに「運転席」や「荷台」の場所と意味を確認させる。 ・シートに視写させる。 ・「そのために」という言葉に着目させる。
ま と め る 10 分	4 学習のまとめをする (1)学習課題に対するまとめ ・トラックについて学習して、自分が思ったことや考えたことをシートに書く。 【仮説1 ウ】 ・学習を振り返りながら音読をする。 (2)学習を振り返り、自己評価する。 5 次時の学習の見とおしをもつ	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の流れを板書を使ってまとめる。 ・トラックについて、自分なりの思いや考えを書かせるようにする。 ・自己評価を記入させる。

じどう車くらへ
かだい

トランプのしごととつくりを
よみとろう。

しごと
にもつをはこぶしごとを
しています。

そのため、

挿絵

つくり
① うんてんせきのほかは、
ひょうにだいいになっています。

えんせき
意味

つくり
② タイヤがたふんついています。

にだいい
意味